

## Excel アドインその 2(Excel のモデルを JMP® プロファイルで分析)

Excel に設定されているモデルを JMP の予測プロファイルを使って可視化し、調べたいという場合、JMP の Excel アドインを使用できます。Windows の環境でのみ使用可能です。Excel ワークシートにあるデータを JMP へ転送、またはそのデータを基本的な JMP 分析プラットフォームで分析する方法については、[Excel アドインその 1\(JMP®へのデータ転送\)](#) のページで紹介しています。

### Excel アドイン: Excel のモデルを JMP® プロファイルで分析する

JMP のインストール時に、Excel のメニュー系統に表示される JMP アドインのタブもインストールされます。Excel タブをクリックすると JMP アドインが表示されます。



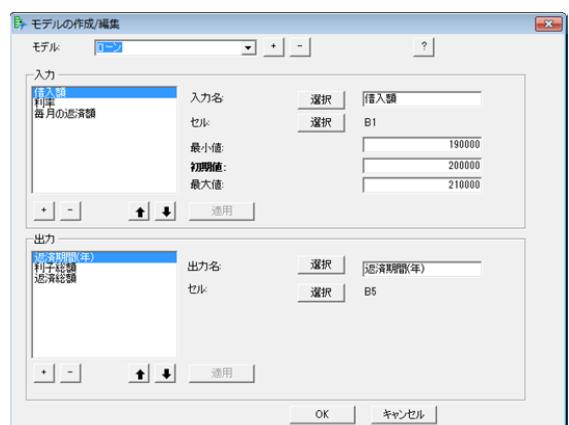
#### 1. Excel でモデルを設定します。

この例では、ローン返済のモデルを Excel のワークシートに設定します。借入額、利率、毎月の返済額が入力となる変数、出力の変数は、返済期間、利子総額、返済総額の 3 つです。出力変数の値は、Excel の計算式を用いて入力変数の値から計算されます。

	A	B
1	借入額	\$200,000.00
2	利率	4.5
3	毎月の返済額	\$1,000.00
4		
5	返済期間(年)	30.86
6	利子総額	\$170,371.21
7	返済総額	\$370,371.21

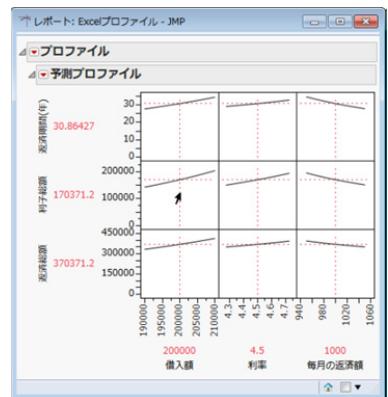
#### 2. モデルの作成/編集ボタンをクリックします。

- **モデルの定義:** モデルの右にある “+” をクリックして新しいモデルを追加します。
- **入力の定義:**
  - 入力フィールドの下の “+” をクリックします。
  - 右側のフィールドに入力名をタイプするか、または選択ボタンをクリックして入力変数名が入っているセルを選びます。
  - セルの右の選択ボタンをクリックし、入力値が入っているセルを選びます。
  - 最小値、初期値、最大値をタイプするか、またはデフォルトの値のままで 適用 ボタンを押します。
  - ここまで操作をすべての入力変数に対して行います。
- **出力の定義:** それぞれの出力変数について、上記 a~c のステップを行います。すべて定義したら、OK をクリックします。



#### 3. JMP のプロファイルで分析をするため、モデルの実行 をクリックします。

- 分析したいモデルを選択し、JMP でのプロファイル をクリックします。
- JMP の中で予測プロファイルのウィンドウが表示されます。JMP が動作していなかった場合は自動的に起動されます。
- 予測プロファイルの中で赤い縦線をドラッグして入力変数の値を変更すると、出力変数の予測値がどのように変化するか見ることができます。



注意: シミュレータ、交互作用プロファイル、満足度関数などのオプションを予測プロファイルの赤い三角から選択できます。予測プロファイルの使い方のより詳しい情報については、[モデルおよび多変量のマニュアル](#)( ヘルプ > ドキュメンテーションの中)にある応答曲面の視覚化、最適化、シミュレーションの章を参照してください。